

あん しん  
**安心して、**  
にゅうがく  
**入学するために**



子どもこが自分のじぶん良いところよをのばせるように、今までいまに  
成長せいちょうしたことことや学んだまなことを大切たいせつにして、生活せいかつをしましょう



**子どもの話を  
よく聞きましょう**

子どもの話をよく聞いてください。子どもは「自分の気持ちを分かてもらえた」と安心して。そして、子どもは、相手の話をよく聞くようになります。相手と分かり合つと、気持ちがよいということを知ります。



**子どものやる気を  
大切にしましょう**

子どものやりたいという気持ちを大切にしてください。最後まで自分の力でできるように応援してください。自分でできたときは、たくさんほめてください。子どもは、自分の力を信じるようになります。自分を大切に思う気持ちも育ちます。



**子どものことを  
見守りましょう**

子どもは、自分の思った通りにできないときや失敗したとき、新しいやり方を考えています。そのときは、静かに見守ってください。じっくり取り組める時や自分で考える時間があることで成長します。



# 小学校での一日の様子

今、学校では新型コロナウイルス感染症が広がらないように、「人と近くで話をするとこ」「人がたくさんいるところ」「空気の流れが悪いところ」に気を付けています。  
安全なところで、勉強ができるようにしています。  
「学校は楽しい」「友達がいてうれしい」「自分の居場所があって心地いい」と子どもたちが思えるように学校生活を工夫しています。小学校生活を楽しい気持ちでスタートできるようにしていきます。

**スタートカリキュラム**  
で赤ちゃんの頃や  
小さい頃に学んだ  
ことを使います

## 登校(学校へ行く)～1校時

安心して学校生活を始められるように工夫された活動(なかよしタイム)



安全に気をつけて登校します。校長先生も見守っています。



折り紙をつなげたり並べたりして、みんなと仲良くなれました。



体育館でからだを大きく動かしました。いろいろなゲームをしました。

## 1校時～4校時

生活科を中心として、いろいろな科目を組み合わせた勉強(わくわくタイム)



学校にはたくさんの教室があります。いろいろな先生がいます。いきものもたくさんいます。学校の中を歩くのは、楽しいです。



育てたトウモロコシを  
取りに行きました。

いろいろな科目の勉強(ぐんぐんタイム)



読む、書く、計算を勉強します。先生はていねいに教えてくれます。

※なかよしタイム、わくわくタイム、ぐんぐんタイムなどの呼び方は学校によって違います。



休み時間

- 1年生で学習する教科など
- ・国語・算数・生活
  - ・音楽・図画工作
  - ・体育・特別活動
  - ・特別の教科道徳
  - ・外国語活動(YICA)

## 給食・清掃(そうじ)・5校時・下校(学校から帰る)



お家や園でも、ご飯やおかずをよそっていたから、てきます。

入学したときは、ともだちと一っしょに学校へ行き、一っしょに帰る学校もあります。小学校に慣れるまでは、安全に気をつけて帰ることができるように、先生やPTAや地域のボランティアの人が見守り活動をしています。

## 放課後(学校が終わったあと)



年の違う友だちと遊ぶことができます。(放課後キッズクラブの様子)

**放課後(学校が終わったあと)の過ごし方**(横浜市の放課後児童健全育成事業について)

横浜市では、すべての市立小学校に「放課後キッズクラブ」(キッズ)があります。キッズは、2つに分かれています。どちらかを選んで、安全に放課後を過ごすことができます。

「区分1」全ての子どもの「遊ぶところ」「区分2」仕事などで昼間、保護者が家にはいない子どもたちのために、「遊ぶところ」と「生活するところ」をあわせた場所

学校ではないところに「放課後児童クラブ(学童保育)」がある地域もあります。仕事などで昼間、保護者が家にはいない子どもたちが、家のような雰囲気の中で安全に放課後を過ごすことができます。

横浜の教育が目指す人づくり(「横浜教育ビジョン2030」より)

## 「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

横浜では、子どもに身に付けてほしい力を、知(生きてはたらく知)徳(豊かな心)体(健やかな体)公(公共心と社会参画)開(未来を開く志)の5つに分けています。この5つを組み合わせ、バランスよく育てていきます。

おぼえること・  
できるようになること



学ぶ力、  
人の良いところなど



考える力、決める力、  
伝える力など



横浜市の学校では入学したばかりの時は、幼児教育(入学前に学んだこと)と小学校の教育を

うまくつなげるために、「スタートカリキュラム」を使っています。

赤ちゃんの頃や小さい頃に力をつけたことを使って、安心して学校生活をはじめます。自分から勉強する力を育てます。

自分で考え動く力や、  
子どものよいところを大切にします。



小さい頃の子どもは、遊びの中で、生活に必要な知識(おぼえること)や技能(できるようになること)を学びます。考える力を身につけ、ルールの大切さや思いやりの心を育てます。

気付く  
わかる  
できるようになる

やりたいことに向かって  
ねばり強くがんばる

考える  
ため  
試す  
工夫する

※幼児期にこのような力がつくと、小学校の学びにつながります。

## あいさつ

家族や知っている人と関係を作る大切なことがあいさつです。まわりの大人があいさつをしていると、子どももできるようになります。



**生活習慣(生活のリズムや規則)**  
早く寝る・早く起きる・朝ごはんを食べることは、子どもの生活にとっても大切なことです。正しい生活を送り、健康な心と体を育てましょう。

家庭で育つ信頼感(人を信じたり、

頼ったりする気持ち)や安心感(不安がなく、

心が安らぐ気持ち)は、生きている間、

生きる力のもとになります。



小学校以降の教育

円滑な接続

遊びを通した総合的な学び  
幼児教育(幼稚園・保育所・認定こども園)

乳児保育

家庭

家庭と園・学校・地域が一っしょに子どもの成長を支えます

# 入学をするときによくある質問です

## Q 心配があるときは、どこに相談すればいいですか？

小学校に行くときに心配なことがあったら、保育所・幼稚園・認定こども園などに相談してください。（「静かに人の話を聞くことができない。小学校の勉強がわかるかどうか心配」「友達関係がうまくいかない」など）保護者（お父さんやお母さん）といっしょに考えて、必要な場所を紹介するなどお手伝いをします。子どもが学校に行くときに、気をつけてほしいことがあったら、通う予定の小学校に相談してください。小学校には、相談を聞いてくれる先生（児童支援専任教諭）がいます。

## Q 文字を読んだり書いたりすることができません。入学の時に、できなくても大丈夫ですか？

小学校では、言葉といっしょに、鉛筆の持ち方や正しい文字の書き方、姿勢などを学びます。心配ありません。ただ、「自分の名前」は読んだり書いたりできると良いです。学校では、読んだり書いたりする楽しさ、伝え合う楽しさを感じられるように、勉強をします。年長後半から1年生にかけての時期は、ことばや数に興味を持ちます。家庭で子どもに本を読んでください。園のできごとを子どもに聞いてください。文字や数を「読みたい！書きたい！」という子どもの気持ちを大切にしてください。

## Q 給食のことについて相談できますか？（好き嫌いがある、食べるのが遅い、食べ物のアレルギーがあるなど）

小学校では、子どもたちが楽しく、おいしく給食を食べることができるように、いろいろな工夫をしています。1年生の始めは、食べる時間や量が子どもによって違います。子どもが食べることができる量を考えて、給食時間を他の学年より長くとしています。食べ物のアレルギー（除去食など）については、就学時健康診断（入学するときに受ける健康診断）や入学説明会など、入学する前に学校に相談してください。家庭では、いろいろな食材を食べて、子どもが食事を楽しいと思えるように過ごしましょう。



## Q 学校が終わった後（放課後）、子どもはどのように過ごしますか？

小学校の施設を使った「放課後キッズクラブ」（キッズ）や、「放課後児童クラブ（学童保育）」があります。いろいろな年の子どもと、みんなで遊んだり、宿題をしたり、おやつを食べたりして、いっしょにいろいろなことをします。仕事をしている家族がむかえに来るまで、自分の家の代わりになります。申し込みの方法は、クラブに聞いてください。クラブの連絡先は、区役所のこども家庭支援課に聞いてください。横浜市や横浜市の区のウェブサイトで見えることもできます。

# お知らせ

## 入学説明会（2月頃）

- 学校生活や、登下校（学校への行き帰り）、入学に必要なもの、給食のお金や学校にはらうお金の説明があります。就学時健康診断（入学するときに受ける健康診断）の時に、学校から日にちと時間のお知らせがあります。

区役所から届く「就学通知書」（入学のお知らせ）は、入学式の日に学校に持ってきてください。